

《担当者名》田鍋 佳子（非）

【概要】

人間は社会的動物である。集団内での人々の相互作用が社会を生みだし、また一方、人間の社会的判断・行動の性質は社会を適応環境として、他者との相互作用の中でうまく機能するかたちで獲得されてきたと考えられている。この講義では、人間の備える社会的認知や判断、行動の性質について学び、人間行動や社会現象を科学的視点から捉えることができるようになることを目的とする。

【学修目標】

対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。

人の態度及び行動についてさまざまな理論を用いて説明できる。

集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	社会心理学とは	社会心理学の研究領域と目的、方法論について理解する。	田鍋
2	自己理解	自己にかかわる心理メカニズムについて理解する。	田鍋
3	他者理解（１）	印象形成のメカニズムとバイアスについて理解する。	田鍋
4	他者理解（２）	ステレオタイプの影響と対人行動について理解する。	田鍋
5	社会的影響過程（１）	他者の存在が個人に与える影響について理解する。	田鍋
6	社会的影響過程（２）	向社会的行動に影響を与える諸要因について理解する。	田鍋
7	態度変容（１）	態度変容をもたらすメカニズムについて理解する。	田鍋
8	態度変容（２）	説得テクニックについて理解する。	田鍋
9	児童虐待と司法面接（１）	児童虐待の現状と問題点について理解する。	田鍋
10	児童虐待と司法面接（２）	子どもの認知特性と言語報告の特徴について理解する。	田鍋
11	児童虐待と司法面接（３）	被虐待児からの聞き取り方法について理解する。	田鍋
12	対人スキル	他者とのよりよい関係を築くためのコミュニケーションスキルについて理解する。	田鍋
13	集団意思決定（１）	個人意思決定と集団意思決定の差異について理解する。	田鍋
14	集団意思決定（２）	よりよい集団意思決定の在り方について理解する。	田鍋
15	非対面コミュニケーション	インターネットに代表されるような非対面状況での心理プロセスについて理解する。	田鍋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験によって評価する（100％）。授業の妨げとなる受講態度は減点対象とする。

【教科書】

なし。資料を配布する。

【参考書】

亀田達也・村田光二 複雑さに挑む社会心理学：適応エージェントとしての人間 改訂版 有斐閣 （2010）

岡本浩一 社会心理学ショート・ショート：実験でとく心の謎 新曜社 （1986）

山岸俊男（監修） 徹底図解 社会心理学—歴史に残る心理学実験から現代の学際的研究まで 新星出版社（2011）

【備考】

この科目は、教職課程（公民）では、教科に関する科目の「哲学、倫理学、宗教学、心理学」に該当する。

【学修の準備】

授業前に前回の講義資料を精読し、内容を十分に理解しておくこと。(2時間)

授業終了後、講義資料を見直し、学習内容を整理し理解を深めること。「資料を見ずに内容を他者に説明できる」ことを目標に復習を繰り返すこと。(2時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している